

インテルプロセッサのサポートブラケットおよび電源ケーブルオプションインストール手順

HP ProLiant SL270s Gen8サーバー用



概要

このガイドでは、HP ProLiant SL270s Gen8サーバーに以下のインテルXeon Phiコプロセッサを取り付ける手順について説明します。

- インテルXeon Phi 5110P (225 W)
- インテルXeon Phi 7120P (300 W)

サーバー固有のユーザーガイドについては、HP ProLiant Gen8 Server Management Information LibraryのWebサイト<http://www.hp.com/go/proliantgen8/docs> (英語) を参照してください。

キットの内容

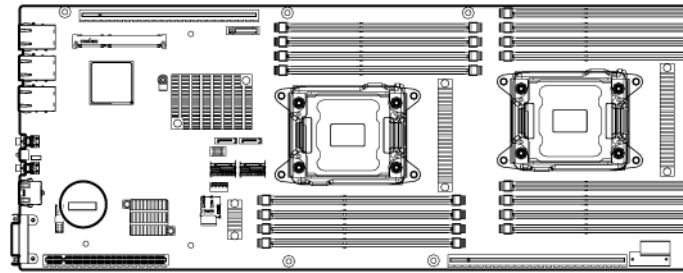
- サポートブラケット
- 電源Yケーブル (300Wコプロセッサ専用)
- 本書

キットに含まれている品目に加えて、次の品目も必要になります。

- トルクスドライバー (T-10)
- プラスドライバー

コプロセッサ取り付けのための大容量BAR設定

システムメンテナンススイッチポジション9は、PCIe 64ビットBAR (大容量BAR) 機能を制御します。



コプロセッサオプションを取り付ける前に、システムメンテナンススイッチポジション9を以下の表に示す設定に設定してください。

コプロセッサモデル	サポートされるコプロセッサの数	スイッチポジション9の設定
インテルXeon Phi 5110P	1 - 8	オン = 有効
インテルXeon Phi 7120P	1 - 6	オン = 有効

システムボード内蔵のHP Dynamic Smart Array B320iコントローラーは、大容量BAR機能をサポートしません。

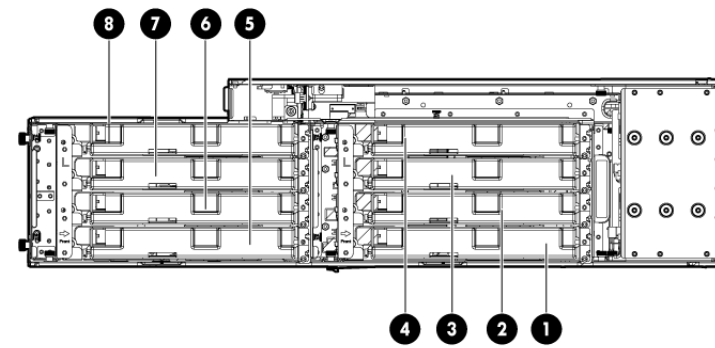
大容量BAR機能が有効になっている場合、システムボード SATA/Mini-SASコネクタへのドライブ接続はサポートされません。取り付けられたドライブをストレージコントローラーボードに接続してください。

大容量BAR機能をサポートするためのシステムボード内蔵のHP Dynamic Smart Array B320iコントローラーの最小システム要件は、バージョンP75 2013. 09 .08です。

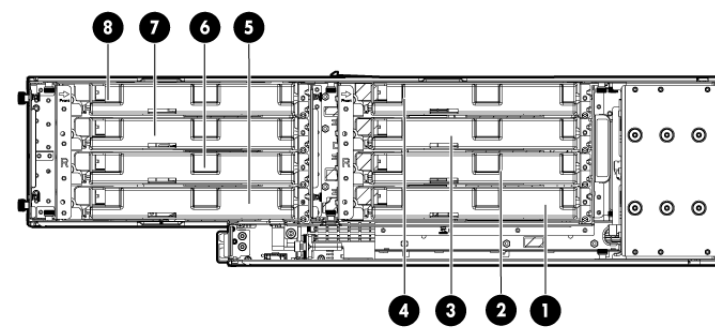
GPU取り付けルール

サーバーにコプロセッサを取り付けるときは、以下の取り付けルールに従ってください。

- 左ノード



- 右ノード



注意: 適切に冷却するために、GPUケージ内のすべてのスロットにコプロセッサまたはGPUブランクを必ず取り付けおいてください。

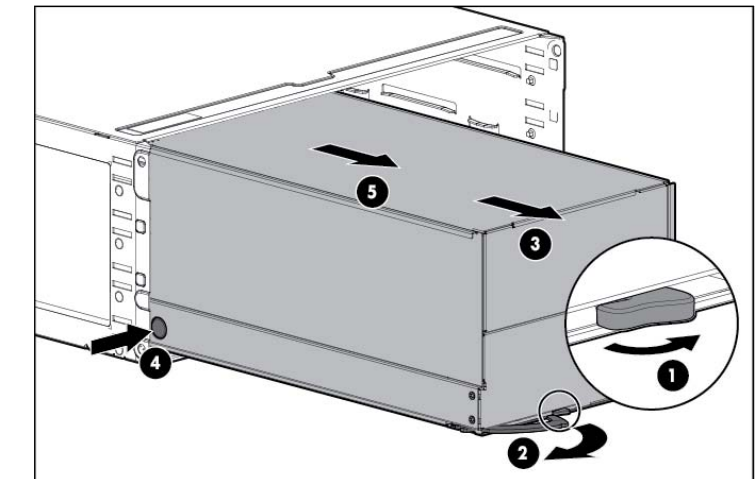
コプロセッサの数	フロント GPU ケー ジベ イ 1 (PCI e x16 ス ロ ッ ト 1 = GPU 1)	フロント GPU ケー ジベ イ 2 (PCI e x16 ス ロ ッ ト 2 = GPU 2)	フロント GPU ケー ジベ イ 3 (PCI e x16 ス ロ ッ ト 3 = GPU 3)	フロント GPU ケー ジベ イ 4 (PCI e x16 ス ロ ッ ト 4 = GPU 4)	リア GPU ケー ジベ イ 1 (PCI e x16 ス ロ ッ ト 5 = GPU 5)	リア GPU ケー ジベ イ 2 (PCI e x16 ス ロ ッ ト 6 = GPU 6)	リア GPU ケー ジベ イ 3 (PCI e x16 ス ロ ッ ト 7 = GPU 7)	リア GPU ケー ジベ イ 4 (PCI e x16 ス ロ ッ ト 8 = GPU 8)
1	あり	GPU ブラ ンク	GPU ブラ ンク	GPU ブラ ンク	GPU ブラ ンク	GPU ブラ ンク	GPU ブラ ンク	GPU ブラ ンク
2	あり	GPU ブラ ンク	GPU ブラ ンク	あり	GPU ブラ ンク	GPU ブラ ンク	GPU ブラ ンク	GPU ブラ ンク
3	あり	GPU ブラ ンク	GPU ブラ ンク	あり	GPU ブラ ンク	GPU ブラ ンク	あり	GPU ブラ ンク
4	あり	GPU ブラ ンク	GPU ブラ ンク	あり	GPU ブラ ンク	あり	あり	GPU ブラ ンク

5	あり	あり	GPU ブラ ンク	あり	GPU ブラ ンク	あり	あり	GPU ブラ ンク
6	あり	あり	あり	GPU ブラ ンク	GPU ブラ ンク	あり	あり	あり
7	あり	あり	あり	GPU ブラ ンク	あり	あり	あり	あり
8	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり

取り付けのためのサーバーの準備

- 警告:** 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。
- 注意:** 電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

- サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
- Power On/Standbyボタンを押します。
サーバーの電源が切断され、サーバーはスタンバイモードに入ります。システム電源LEDが緑色からオレンジ色に変わります。サーバーにはまだ電力が供給されています。
- サーバーをシャーシから取り外します。



- サーバーを平らで水平な面に置きます。

© Copyright 2012, 2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

Intel®、インテルおよびXeon Phi™はインテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

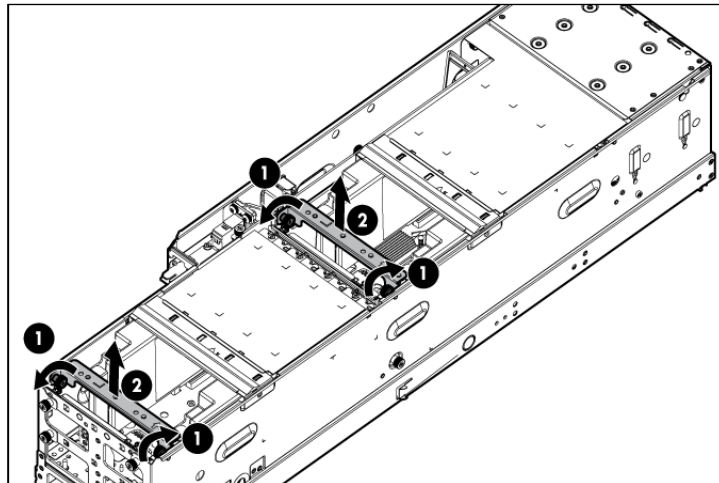
製品番号 : 712982-192
2013年9月
版数 : 2



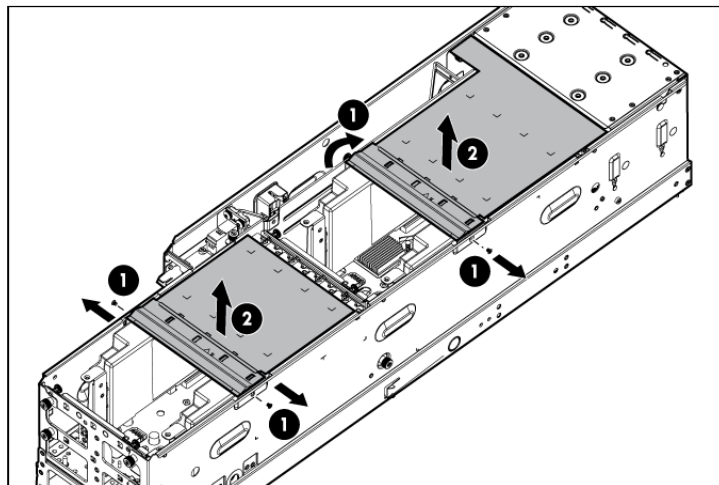
712982-192

コプロセッサブラケットおよび電源ケーブルの取り付け

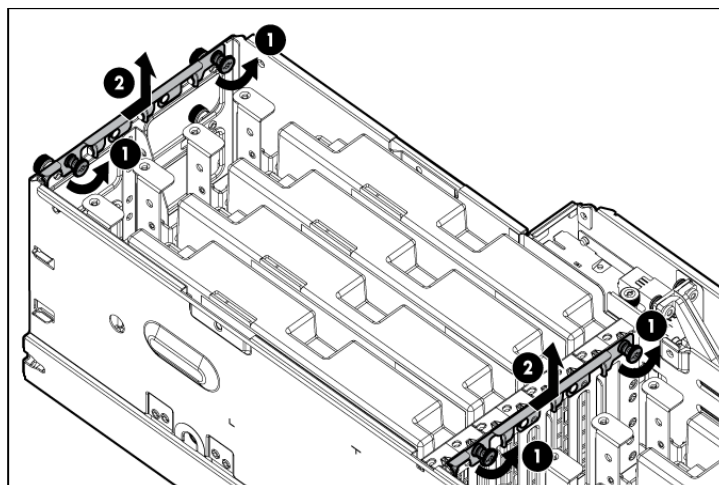
1. 輸送用ブラケットを取り外します。



2. 輸送用プレートを取り外します。



3. PCI固定用ブラケットを取り外します。



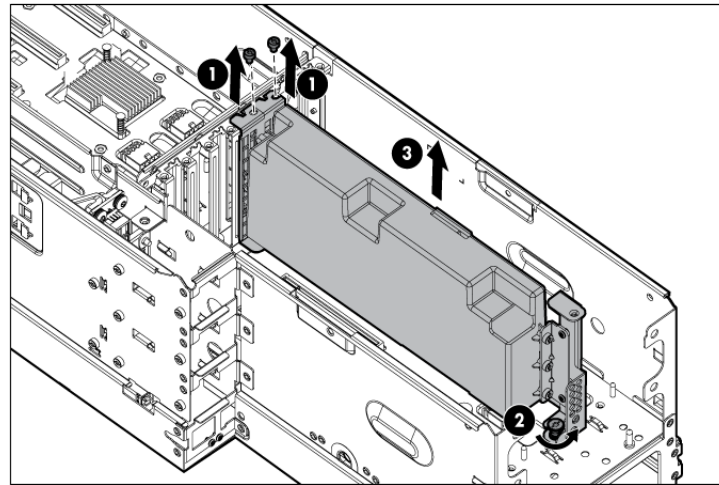
4. GPUブラックが取り付けられている場合は、取り外します。

a. ブラックの左端にあるネジを外します。

ネジは、コプロセッサの取り付けのために保管しておいてください。

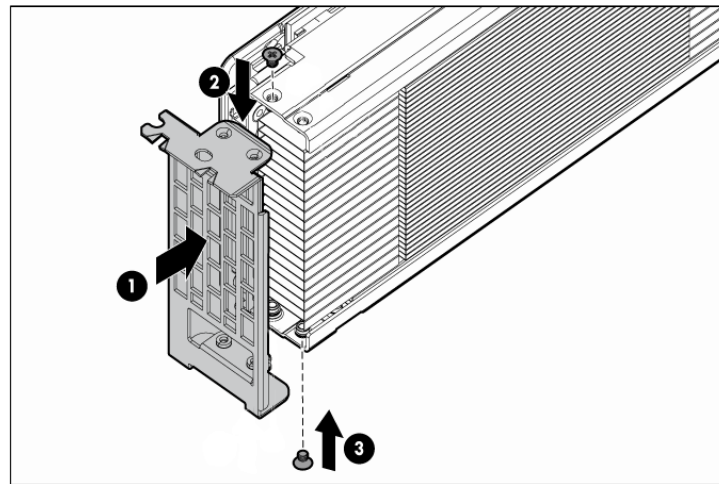
b. ブラックの右端にある固定ネジを緩めます。

c. GPUブラックを取り外します。



5. 電源仕様を確認するには、コプロセッサに付属の資料を参照してください。この情報により、コプロセッサの取り付けに電源ケーブルが必要かどうかを判断します。

6. サポートブラケットをコプロセッサに取り付けます。ブラケットを固定するには、コプロセッサオプションに付属のネジを使用してください。

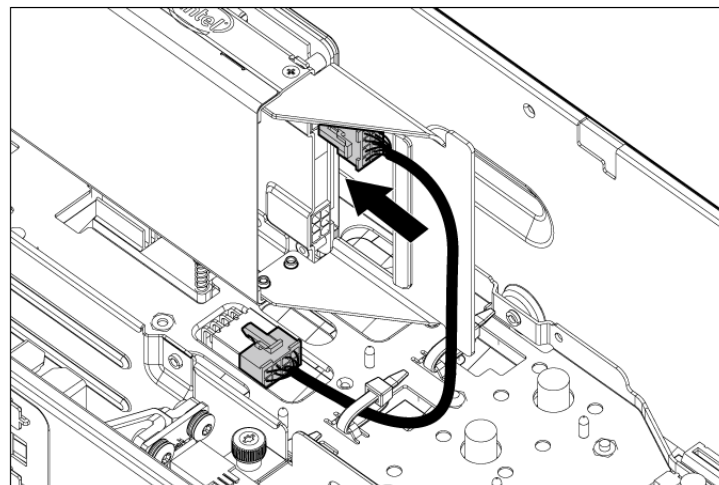


7. 225Wコプロセッサを取り付ける場合は、事前に取り付けられている電源ケーブルをコプロセッサに接続します。

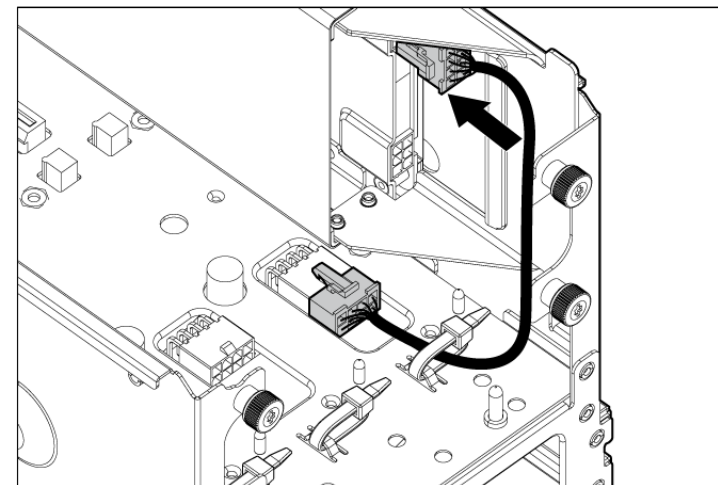
a. コプロセッサを取り付けます。

b. 事前に取り付けられている電源ケーブルをコプロセッサの8ピン電源コネクタに接続します。

— フロントGPUケージ



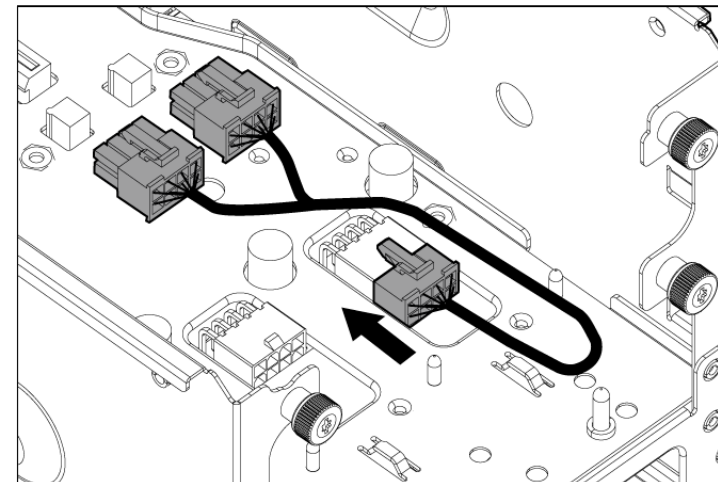
— リアGPUケージ



8. 300Wコプロセッサを取り付ける場合は、このキットに付属の電源Yケーブルを接続します。

a. 結束バンドを切り、GPUシェルフボードから、事前に取り付けられているコプロセッサ電源ケーブルを取り外します。

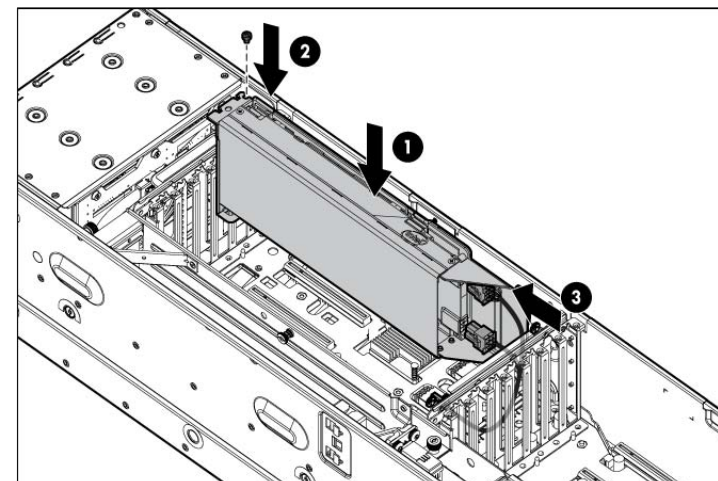
b. 電源Yケーブルをケーブルクリップで固定し、ケーブルの分岐していない側をGPUシェルフ電源コネクタに接続します。



c. コプロセッサを取り付けます。

d. GPUブラックを取り外した際に保管しておいたネジ(手順4a)でコプロセッサを固定します。

e. 電源Yケーブルの分岐している側をコプロセッサに接続します。6ピンの方を下のコネクタに接続し、8ピンの方を上のコネクタに接続してください。



9. PCI固定用ブラケットを取り付けます。

10. 輸送用プレートを取り付けます。

コプロセッサを取り付けた後は、輸送用ブラケットは不要です。将来使用できるように保管しておいてください。

動作のためのサーバーの準備

1. 取り付け手順の実行時にサーバーから取り外したすべてのコンポーネントを取り付けなおします。

2. サーバーをシャーンに取り付けます。

3. 電源ボタンを押します。

サーバーがスタンバイモードから出て、すべての電源がシステムに供給されます。システム電源LEDがオレンジ色から緑色に変わります。

以上で取り付けは完了です。